

く、皆さんの心の奥では、こころの支えになってくれる、もっと違ったものを求めているのではないのでしょうか。そんなものが、この本の中にあるかもしれません。

私は勉強や、バイトや、生活などで悩むことがよくありますが、そんな時がばいばあちゃんの言葉を思い出すと、前向きという信念が強くなってきて、頑張れば、できそうにないこともできるようになると思います。

最後に、がばいばあちゃん是这样いしました。「時計が左に回ったら、壊れたと思って捨てられる。人間も昔を振り返らず、前へ前へと進め！」みなさん、私たちはこれからの人生には、何があっても逃げずに、強い心、負けない心、勇気を持って自分らしく堂々と輝いていっていきましょう。みなさん、是非一度この本を読んでください。

編集後記

『語研ニュース』第19号をお届けします。今回は史上最高の頁数を誇る大部の『語研ニュース』となりました。この場を借りて執筆者各位に感謝の意を表します。今回はカラー写真も多かったので、予算内で出来上がるかどうか心配だったのですが、お陰様で無事完成しました。中部日本教育文化会の向井さんに大変お世話になりました。

今回も奇数号の恒例通り、前年末に行われた外国語コンテストの講評と、上位入賞者のスピーチ原稿を掲載しています。御覧の通り、どれも優れた内容のものであり、またそれぞれの外国語も注目すべき水準だと言えます。しかも、現代中国学部学生の中国語以外は、外国語や外国文化を専攻していない学生諸君が、これほどの水準のスピーチを外国語で聞かせてくれるということは実は大変なことです。このスピーチコンテストのこと、特にここに参加している学生たちのことは、学内や学外に大いに宣伝して誇りにすべきことだと私は思います。入試広報などにも最大限に利用してもらえればと考えています。今年ももちろん、11月から12月にかけて、各語系で昨年と同様なコンテストが開催されます。出来るだけ多くの学生の参加を期待しています。

これまでも何度かここに書いてきたことを、敢えてもう一度繰り返して書きます。夏休みのほぼ一ヶ月半の間、外国語から遠ざかって生活をしていると、これまでせっかく身につけた語学力が衰えてとても勿体ないことになってしまいます。春学期中の授業のテキストを暇なときに読み返したり、その外国語の新聞を読んだり、あるいは自分の趣味や興味のある分野に関する本を読んだり、ニュースや天気予報などをその外国語で聴いたりなどのインプットを、少しずつでもなるべく毎日続けましょう。